―挑戦者として―

「1部復帰します！」

秋季男子バレーボール2部リーグ

←強烈なスパイクサーブで相手を切り裂く、ライト・渡邊結喜（法４）

↓期待の１年、リベロ・夏目真吾（営１）

←チームのムードメーカー、センター・江波明（経３）

１部で粘ることが出来ず涙を呑んだ今春。「必ず１部復帰します」そう力強く話した選手の戦いがまもなく幕を開ける。

下級生主体で臨んだ東日本インカレでは３部６位の格下相手に敗北。「２部のターゲットになった」と監督も言うように、今季は厳しい戦いを強いられそうだ。

さらに加えてエース橋場正裕（歴４）が怪我により戦線離脱。いつチームに戻れるか見通しは立っていない。選手は不安を拭えぬままなのか…。

そうばかりでもない。「努力する姿勢が見え、信頼度は高い」と監督が評価するのが下級生。彼らの奮起がポジション争いを激化させ、チームによい刺激を与えていることは間違いない。中でも高校時代全日本ユースでプレーした夏目真吾（１）に期待がかかる。絶対的エース橋場正裕（歴４）の離脱で以前にもまして拾ってつなぐバレーが必要不可欠となり、リベロの果たす役割は大きくなりそうだ。

渡辺結喜（法４）の強烈なスパイクサーブ、三芳健斗（法３）の絶妙なクイックスパイク、ムードメーカー江波明（経３）の盛りたて、上級生の長所を存分に生かしチームが一つになり、波に乗ると止まらない駒大の強さを必ずや発揮してくれることだろう。

「春とは違うメンバーでどれだけできるか」市村直己新主将（営４）は厳しい表情を浮かべた。

しかし、自身にとっても３部から１部までを経験した４年生にとっても最後のリーグ戦。「一花咲かせてくれることを信じている」と監督。

１部復帰を果たし、コートの中に満開の笑顔が咲くのが今から待ち遠しい。

（古田　早季）

秋季男子バレーボール２部日程表

第１日目　９月 30 日（土）11:00～２試合目
対国士大　　東農大世田谷校舎体育館
第２日目　10 月１日（日）11:00～２試合目
対東農大　　駒澤大学体育館
第３日目　10 月７日（土）11:00～１試合目
対東京学芸大　駒澤大学体育館
第４日目　10 月８日（日）11:00～１試合目
対亜大　　駒澤大学体育館
第５日目　10 月 14 日（土）11:00～２試合目　対専大　　駒澤大学体育館
第６日目　10 月 15 日（日）11:00～２試合目　対明大　　駒澤大学体育館
第７日目　10 月 21 日（土）11:00～２試合目　対法大　　亜細亜大学体育館
第８日目　10 月 22 日（日）10:00～　対戦校未定　　亜細亜大学体育館
第９日目　10 月 28 日（土）10:00～　対戦校未定　　亜細亜大学体育館
第10日目　10 月 29 日（日）10:00～　対戦校未定　　亜細亜大学体育館

今季無敗、入替戦まであと1勝

秋季ラクロスリーグ戦女子４部Ｂブロック

「みんなの力で勝ち取った勝利だと思います」
試合後、勝利チームの主将インタビューで河津八絵主将（法３）はたくさんの拍手と歓声の中で顔をほころばせた。
３部降格校・神田外大との１戦。今季リーグの中では第二の山場となるのではないかと予想していたが、見事にその予想を覆してくれた。チームの得点源、滝口瑛子（政３）の活躍などで８－３と快勝。チームが現在、乗りに乗っていることがうかがえる試合となった。
次戦はいよいよリーグ最終戦。この試合で勝利を手にすれば念願の３部４部入替戦出場となる。最終戦の相手は昨年も大差で勝っている聖学院大が相手だ。もちろん油断は禁物だが「（聖学院大戦の）先の入替戦を目標に１ヶ月間のモチベーションをあげていく」と照準は完全に入替戦に合わせている様子。リーグ全勝・３部昇格の為にもここが頑張りどころとなるだろう。次戦は 11 月 12 日に対聖学院大戦が行われる。時間、場所は未定。

（玉造　千慧）

その高い得点力でチームを勝利に導いた＃11 滝口（写真撮影＝永田博義）